

## 目次

### 1 調査実施概要

#### 1-1 調査の目的

#### 1-2 調査の方法

### 2 結果の概要

#### 2-1 回答者のプロフィール

#### 2-2 一番最近の妊娠の経験

#### 2-3 超音波検査の経験

#### 2-4 母体血清マーカー検査の経験

#### 2-5 羊水検査の経験

#### 2-6 NIPT検査の経験

#### 2-7 NT検査の経験

#### 2-8 着床前診断・その他の検査の経験

#### 2-9 妊娠・出産に対する意識

### 3 まとめ

### 4 補 データクリーニングについて

## 1. 調査実施概要

### 1-1 調査の目的

女性の妊娠と出生前検査については、医学的な手技やその成果についての論文や、胎児の疾患などの発見によって中絶することについての法的・倫理的な課題を指摘した論考は多くある。だが、女性がその経験をいかに受けとめているか、検査を受けるか/受けないか、妊娠を継続するかなど意思決定の過程とその要因を検討した研究が少ないこと、また検査を受けなかった人への調査がほとんどないことから、柘植・菅野・石黒は2003年に科学研究費補助金（課題番号14594023）の助成を受けて「妊娠と出生前検査についての調査」を東京都内で実施した。続いて26名の女性へのインタビュー調査をした。その成果は、研究成果報告書（2005年）の他に、柘植・菅野・石黒『妊娠——あなたの妊娠と出生前検査の経験をおしえてください』洛北出版（2009年）として出版した。

2003年調査から10年を経て、出生前検査の諸技術はさらに進歩した。2013年の4月からは「新型出生前診断」またはNIPTと呼ばれる新しい検査の日本での臨床研究が始まった。2003年からの変化を捉えることを目的として、2013年には本調査のメンバーなどで、首都圏の保育園や病院を通して質問紙調査を実施した。その結果は、「妊娠と出生前検査の経験に関するアンケート調査 2013」としてまとめられている（以下、同調査を「2013年調査」とする）。しかし、実施時期がNIPTの臨床研究の開始直後であったこと、また保育園等や病院を通じた質問紙の配布であるため、計量分析に耐えうるサンプルを確保できないという限界がある。そこで妊娠や出生前検査をめぐる環境の変化を背景に、幅広く女性の妊娠の経験や、妊娠・出産等に対する意識を捉えること、さらにNIPT実施の地域差などを考慮し、首都圏だけではなく全国の女性を対象とする調査を検討した。本調査が主眼とする対象者は妊娠経験がある人や、出生前検査の経験がある人であるため、それらの対象を効率よく抽出でき、かつ全国規模の大量調査が実施可能なインターネット調査を行った。出生前検査に対する知識と経験、さらに妊娠全般に関する経験や意識などを明らかにすることを目的としている。

### 1-2 調査の方法

インターネット調査は以下のような方法で行った。

- ①調査実施時期：配信 2015年1月30日（金）～2015年2月9日（月）
- ②調査方法および対象：調査対象者は、20～44歳までの女性で、妊娠経験があると回答し、妊娠経験等について回答した人、とした。その上で、出生前検査を受検した経験がある人（条件①）、もしくは受検の経験はないが出生前検査について妊娠中に受けるかどうか迷うなど、何らかのかかわりを持った人（条件②）を対象とした。前述の条件①は400名、同、条件②は1800名を完了目標とした。

基本属性や上記の条件（妊娠経験や出生前検査を検討する経験の有無など）を尋ねる予

備調査を行い、調査条件に該当する者のみ、予備調査後、参加意思を確認の上、本調査に進んでもらった。

調査は日経リサーチ（株）を通して、同社に調査モニターとして登録している（「日経リサーチアクセスパネル」）女性に調査協力依頼を配信した。

配信数、予備調査回答者数、本調査回答者数は下記のとおりである。

調査依頼 配信 403,031 名

↓

期間内に、予備調査へアクセス 20,196 名

↓

回答拒否 729 名と条件不適合者（男性／19 歳以下／45 歳以上／妊娠経験なし／妊娠経験回答拒否） 11,548 を除く

※回答者条件は、20～44 歳までの女性で、妊娠経験があると回答し、検査経験等の回答に承諾した人

↓

回答条件適格者 8,766 名（＝本調査配信対象）

↓

回収数 2,378 名（うち、条件①441 名、条件②1,937 名）

↓

有効回答数 2,357 名（直近の妊娠について「答えたくない」とした 21 を除く）

いわゆる回収率は、以下の通りとなる。

回収数 2378 ÷ 回答条件適格者 8766 =27.1%

有効回答数 2357 ÷ 回答条件適格者 8766 ÷ 26.9%

調査内容（質問項目）は以下の通りである。

調査	No		内容
予備調査	s1		性別
	s2		年齢
	s3		住所
	s4	1~4	知識問題（妊娠全般）
	s5	1~8	意識調査
	s6	1~8	政策評価
	s7		妊娠回数

	s8	1～3	超音波__経緯・受検有無・受検時期
	s9	1～3	マーカー__経緯・受検有無・受検時期
	s10	1～3	羊水__経緯・受検有無・受検時期
	s11	1～3	NIPT__経緯・受検有無・受検時期
	s12	1～3	NT__経緯・受検有無・受検時期
	s13	1～3	着床前__経緯・受検有無・受検時期
	s14	1～2	学歴__本人・夫
本調査	q1	1～8	知識問題（出生前検査）
	q2		妊娠中か
	q3	1～2	自然流産・自然死産・中絶
	q4		不妊治療経験
	q5	a～b	妊娠時期__年齢・無回答
	q6		拳児希望
	q7		性別希望
	q8		性別判明
	q9		妊娠判明
	q10		妊娠の判明時期
	q11		妊娠判明時の仕事有無
	q12		妊娠検査薬利用
	q13	1～4	妊娠判明時の感情
	q14		妊娠時の状況
	q15	1～8	妊娠中の不安
	q16		不妊検査
	q17		超音波検査受検有無
	q18	1～5	検査説明__超音波・マーカー・羊水・NIPT・NT
	q19	1～5	検査受検意思確認__超音波・マーカー・羊水・NIPT・NT
	q20		その他の検査受検有無
	q21	1～4	受検／非受検理由__超音波・マーカー・羊水・NIPT
	q22		超音波検査の結果
	q23		NT 受検有無
	q24		マーカー検査の結果
	q25		マーカー検査結果後の行動
	q26		羊水結果

	q27		羊水結果後の行動
	q28		妊娠結果
	q29		出産場所
	pd_q30		自由記述：妊娠
	pd_q31		自由記述：医療
	q32	1～5	子どもの性別と年齢
	q33		医療者として出生前検査の関わり経験
	q34	1～2	仕事__自分・夫
	q35	1～2	年収__自分・世帯

\*<sup>1</sup>：超音波検査の受検については、予備調査と本調査の両方で尋ねている。スクリーニング調査では検査を受けたかどうかとその経緯、本調査では回数を尋ねている。詳細は 2.結果を参照のこと。

\*<sup>2</sup>：NTについても予備調査と本調査の両方で、検査を受けたかどうかについてほぼ同じ内容で尋ねている。詳細は 2.結果概要を参照のこと。